

# 商業出版をすることになったら

雑誌や書籍で  
アウトプットする

モウフカブール  
大澤文孝



# Who Am I?

大澤文孝  
技術ライター／システムエンジニア／プログラマ／インフラエンジニア。

# 主な著書



100冊越えた  
記念パーティー  
やり損ねた





# • 新刊

いちばんやさしい Python 入門教室 改訂第2版

豊富なカラー図解とイラストでわかる!

大澤文孝 [著]

2版

手を動かしながら覚えてプログラミングまでマスターできます!

知識ゼロから始めることもない [未経験者] スキルアップしてさらに上を目指す [初級者] プログラミングを学ぶすべてのビギナーに [最良の入門書!]

プログラムの [読み書き] [ルール] [命令] を学習して、ゲームやアプリを作りながら楽しく学べる一冊です。

Webからサンプルをダウンロードできます

いちばんやさしい Python 入門教室 大澤文孝 [著]

豊富なカラー図解とイラストでわかる!

必須の基礎知識と基本文法がこの1冊でしっかり身に付きます

コードの読み書きがはじめての [未経験者] スキルアップしてさらに上を目指す [初級者]

プログラムの [読み書き] [ルール] [しくみ] を学習して、ゲームやアプリを作りながら楽しく学べる一冊です。

9刷

いちばんやさしい Python入門教室 改訂第2版

9月8日発売予定!

最後の章では、Yolov8を使った画像認識までやります!

図8-1-3 「きのこの山」と「たけのこの里」を判別する

最初は、お皿 (bowl) しか認識しない

学習させると、「きのこ」と「たけのこ」が識別できるようになる!



# 雑誌執筆

・月刊I/O

- ・インターネットマガジン
- ・DOS/Vマガジン
- ・VBマガジン
- ・.NETマガジン

・ソフマップワールド





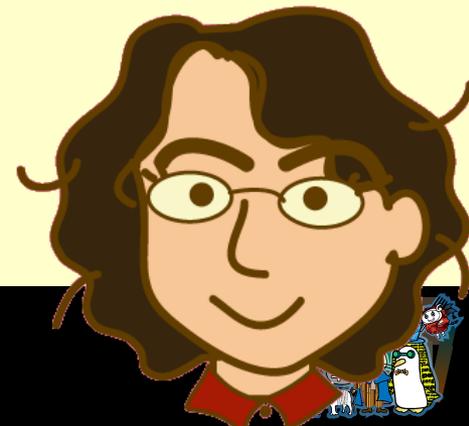
- 出版社、書籍/雑誌によってスタイルが違う

今回は、**最大公約数的なオーソドックスな話**をします

(だいたい、どの出版社でも同じ、基礎的な話をします)

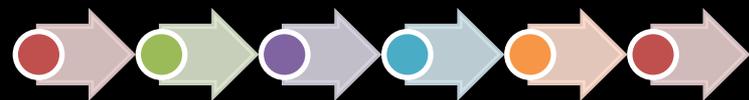
今回は、主に「書籍」をテーマにします。

不明点は、最初に  
編集さんに  
聞いてね！





どのように執筆依頼がくるの？

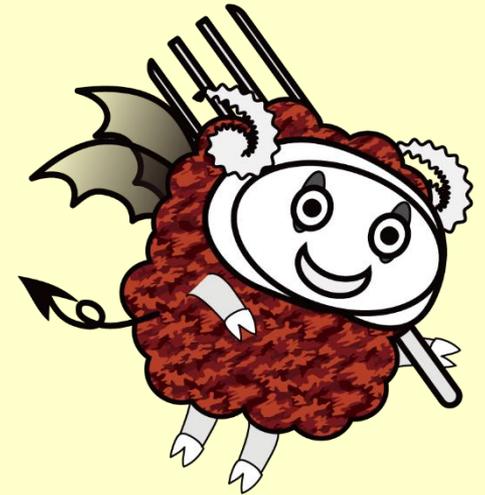


Presented by  
Mofukabunさん



# • エンジニアに執筆してもらいたい意図

1. ある技術の解説を書いてもらいたい
2. 現場の実際の話を書いてもらいたい  
→特定の「ネタ」にフォーカス  
→クラウド、LLMなど旬のネタ
3. あなたについて書いてもらいたい  
→有名人などのコラム  
→今回、このケースは除外

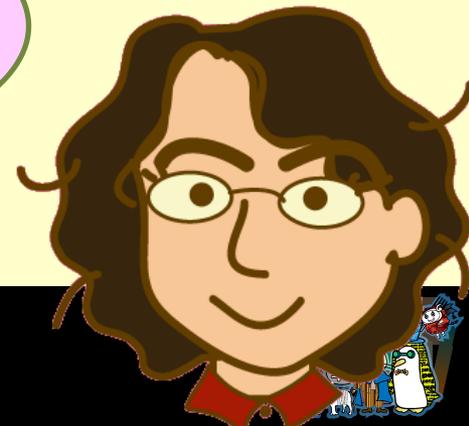




- ネタについて詳しい人に依頼する

- ブログ
- Twitter
- 講演、イベントでの展示
- 技術書典や技書博などで出している同人誌

書けそうな人を  
探して依頼するよ





## • 企業への依頼

- 代表的な人にお声がけ(講演している人、ブログ書いている人など)
- 広報を通じて、企業内でチームを組んで執筆

### [メリット]

- 複数人で書くので、ひとり当たりの負担が少ない
- 執筆になれていない人でも、慣れた著者のサポートを受けながらチームとして執筆できる



- 欲しいのはネタに関する「内容」です

- 文章がおかしいのは、編集部で直せます。少しの調整で読みやすくするノウハウも持っています。

- でも構造がおかしいのを直すのは厳しいです

- 前後関係がおかしい

- 途中の説明が抜けている

- 理論破綻している





# • エンジニアは忙しいのはわかっています

• 忙しいエンジニアに、推敲・校正までお願いするのは悪いと  
考えている編集部も多いです

→負担が大きいと感じるなら、編集部にお任せOKです

• エンジニアから出てくるのは箇条書きだけ、ヒアリングした結  
果だけ、そこから執筆するなんてこともあります

→僕が呼ばれます！！！！

• 大きくリライトします

→リライトしすぎて怒られることもありますが、それも僕  
の仕事です





- お声がけされたら、是非協力を！！

**知見を皆に広める**  
という目的で、  
負担のない範囲での  
ご協力をお願いします





# • 僕にはお声がかからないんだけど

- 大企業じゃないから？
- 技術力が足りないから？

→いいえ。**ネタが合わない** or **編集部のリサーチ不足**  
が理由です。

違います！  
単純な **ミスマッチ**  
です。





# • お声をかけてもらうには

## • PRする

→印税・原稿料は、エンジニアの単価に比べて安価です。ですので、エンジニアとして忙しそうなおの人に声をかけるのは悪いと思っています

→「依頼あれば書きます」とPRしていただければ、お声がけしやすい！

## • 実際に書いてみる

→ブログ→雑誌記事/Web記事→書籍

→同人誌で書いてみるのも方法のひとつ

→「どんな感じの文章が書けるか」がわかると、お声がけしやすい！

→声がかからないのは技術力不足とかでなくミスマッチが多いです。

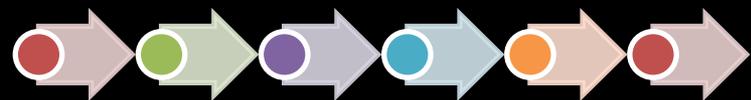
→面白企画があれば、「持ち込み企画」として提案できます！

それは最後にお話します





僕らは、「本」を作っている



Presented by  
Mofukabura様

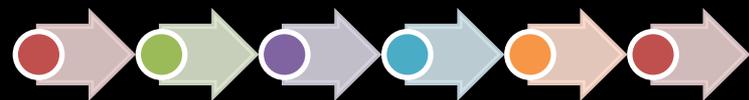




- 「書籍」や「雑誌」の体裁に押し込める

- 書籍であれば、少なくとも128ページ以上  
→ある程度のボリュームが必要

- 雑誌であれば、編集さんに依頼されたページ数以内  
→ダイジェスト的にコンパクトにまとめる必要





# • 書籍の場合の体裁

目次

はじめに

第1章

1-1 なんとか

■ なんとか

■ なんとか

1-2 なんとか

...

第2章

2-1

第X章

索引

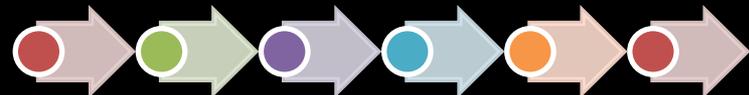
著者略歴

章

節

小見出し

執筆とは、こうした決まったスタイルに、内容を落とし込んでいく作業





# 書籍の例

## Contents

**CHAPTER 1 システム構築をインフラから始めるには** ..... p.12

1-1 開発者がネットワークやサーバーを構築するメリット ..... p.12

1-2 ネットワークやサーバーを構築する ..... p.14  
 ■サーバーの構成 ■ネットワークの構成 ■問題を解決する、さまざまなツール

1-3 WordPress でブログシステムを作る ..... p.18  
 ■「公開されたネットワーク」と「隠されたネットワーク」  
 ■片方向からの接続だけを許す NAT

1-4 物理的なネットワークとAWS ..... p.19  
 ■「リージョン」と「アベイラビリティゾーン」  
 ■「ネットワーク」と「Amazon VPC」  
 ■「サーバー」と「Amazon EC2 インスタンス」

1-5 本書の流れ ..... p.22

**CHAPTER 2 ネットワークを構築する** ..... p.26

2-1 ネットワークで用いる IP アドレス範囲を定める ..... p.26  
 ■「パブリック IP アドレス」と「プライベート IP アドレス」  
 ■IP アドレス範囲と表記方法 ■本書でのネットワーク構成  
 Column IP アドレスの割り振りと再配布

2-2 実験用の VPC を作成する ..... p.33

2-3 VPC をサブネットに分割する ..... p.36  
 ■サブネットの考え方 ■VPC をサブネットに分割する  
 ■パブリックサブネットを作る

2-4 インターネット回線とルーティング ..... p.40  
 ■インターネットに接続するための回線を引き込む ■ルーティング情報  
 ■ルートテーブルを設定する

2-5 まとめ ..... p.54

## CHAPTER 3 サーバーを構築する

3-1 仮想サーバーを構築する .....  
 ■インスタンスを作成する ■インスタンスの確認  
 Column Amazon Linux  
 Column SSH の接続元の設定  
 Column インスタンスの停止と再開、破壊

3-2 SSH で接続する .....  
 ■パブリック IP アドレスを確認する ■SSH で接続する  
 Column Amazon Linux 2023 の認証方式  
 Column 鍵ファイルのパーミッション  
 Column パブリック IP アドレスを固定化する

3-3 IP アドレスとポート番号 .....  
 ■パケットを相手に届けるためのルーティングプロトコル  
 ■サーバー側のサービスとポート番号の関係

3-4 ファイアウォールで接続制限する ..... p.86  
 ■パケットフィルタリング ■インスタンスのセキュリティグループ

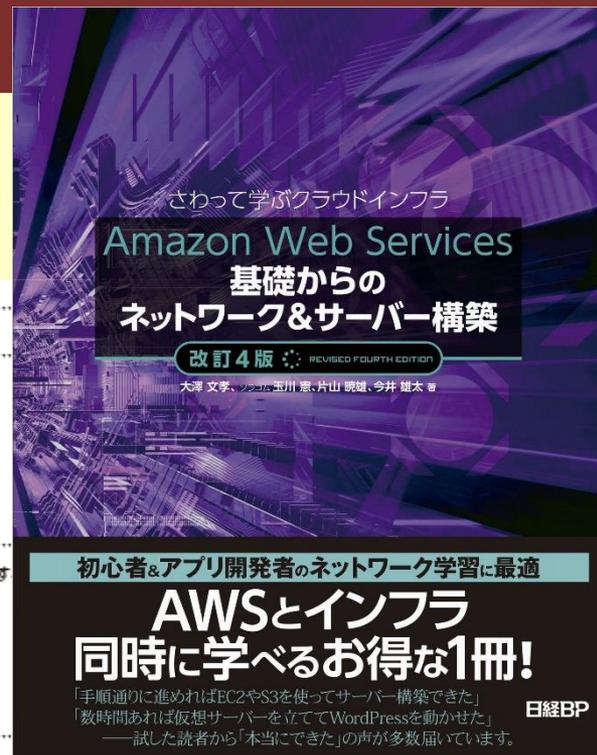
3-5 まとめ ..... p.89  
 Column SSH 以外のインスタンスへのアクセス

## CHAPTER 4 Web サーバースoftwareをインストールする

4-1 Apache HTTP Server のインストール ..... p.92  
 ■サーバーに Apache をインストールする ■Apache のプロセスを確認する

4-2 ファイアウォールを設定する ..... p.97  
 ■Web サーバーに接続する ■ファイアウォールを構成する

4-3 ドメイン名と名前解決 ..... p.102  
 ■ドメイン名の構造 ■DNS による名前解決 ■DNS サーバーを構成する  
 ■nslookup コマンドで DNS サーバーの動きを見る



初心者&アプリ開発者のネットワーク学習に最適

# AWSとインフラ 同時に学べるお得な1冊!

「手順通りに進めればEC2やS3を使ってサーバー構築できた」  
「数時間あれば仮想サーバーを立ててWordPressを動かせた」  
—— 試した読者から「本当にできた」の声が多数届いています。

日経BP





# • 実際の紙面

## CHAPTER 1

### システム構築をインフラから始めるには

アプリケーション開発者にとって、ネットワークやサーバーなどのインフラを知ることは重要です。インフラを知れば、自分で好きなように開発環境を整えられるようになります。また、課題が生じたときに、アプリケーション開発の枠組みから出て、システム全体で対応できるようになるのも大きなメリットです。たとえばリソース不足になったときには、アプリケーションの最適化だけで解決するのではなく、スケールアップやスケールアウトなどのインフラ計画まで踏み込んだ包括的な対応ができるようになります。

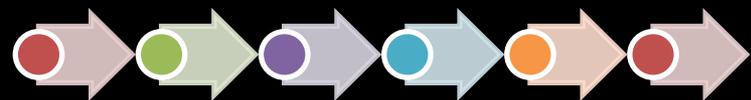
概要を示すリード文

#### 1-1 開発者がネットワークやサーバーを構築するメリット

ほとんどの開発現場では、ネットワーク管理者やサーバー管理者が、開発や運用のためのネットワークとサーバーを構築します。

アプリケーション開発者は、こうして出来上がったサーバーのアカウント情報を頼りにログインし、各種開発をしていきます。

このように「ネットワーク管理者やサーバー管理者の仕事」と「アプリケーション開発



# • 実際の紙面

## 1-2 ネットワークやサーバーを構築する

では、ネットワークやサーバーを構築する場合、どのようにすればよいのでしょうか？  
ネットワーク管理者やサーバー管理者は、概ね、次のようにシステム全体を設計します。

### ■サーバーの構成

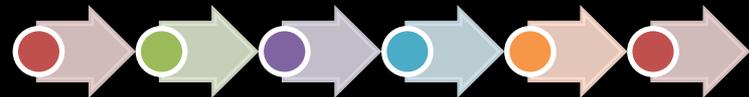
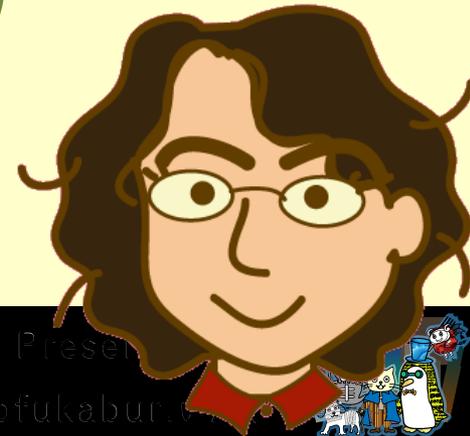
まず、どのようなサーバーが必要なのかを考えます。

たとえば、Web サイトを提供するのであれば「Web サーバー」が必要です。そして、データを保存する場合には、「データベースサーバー」が必要です。また、メールを送受信するために「メールサーバー」が必要です。

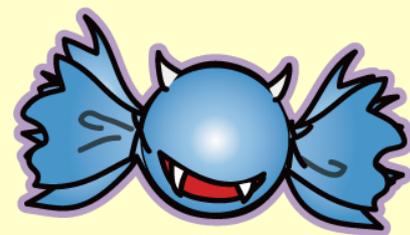
ここで挙げたように、サーバーの種類は多岐にわたります。しかし実際には、「Web サーバー」だけでなく、「データベースサーバー」や「メールサーバー」をインストールしたものや、「Web サーバー」と「データベースサーバー」を組み合わせたものをインストールしたものや、「Web サーバー」と「メールサーバー」を組み合わせたものをインストールしたものや、「Web サーバー」、「データベースサーバー」と「メールサーバー」を組み合わせたものをインストールしたものなど、様々な構成のサーバーがあります。

節見出しと小見出しの間には、必ず文を入れている

章によって、節見出しと小見出しとの間に文が入るケースと入らないケースが混在するのは統一感がなくて読みにくいよ



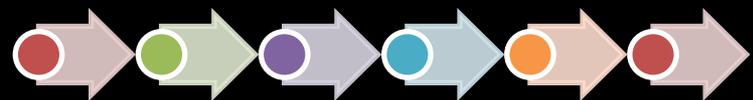
# • 統一感をもった書き方をする



スタイルは編集部が決めるので意識する必要はないが、  
**統一感をもった書き方**をすべき。

- 章によってリードがあったりなかったりする。章によって極端に長さが違う
- 小見出し(■見出し)がひとつしかない節がある
- 極端に短い節がある、極端に長い節がある

→読みにくさの原因になるので、考慮すべき事項



# • 雑誌の場合の体裁

タイトル

ちょっとした文章(リード)

■見出し

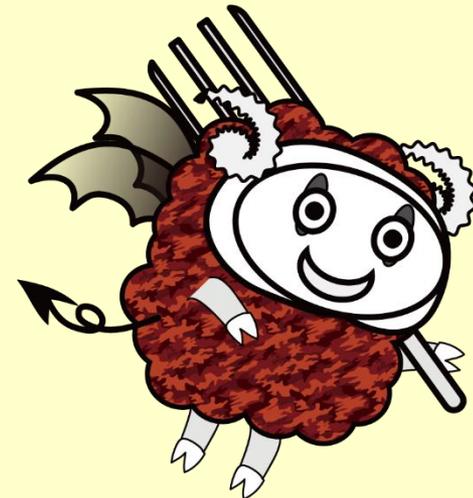
■小見出し

■小見出し

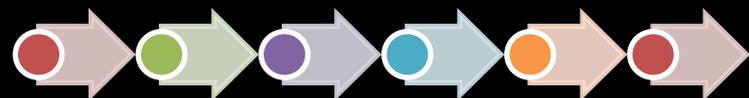
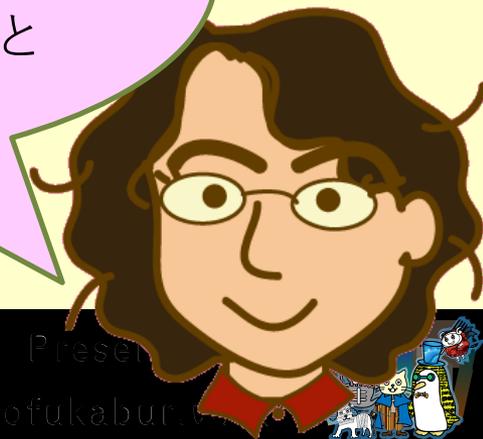
■見出し

■小見出し

■小見出し

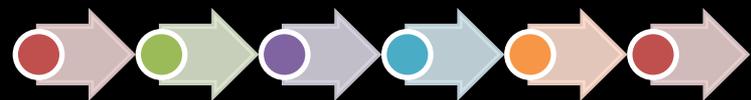


雑誌の記事を依頼されたら、その雑誌に掲載されている記事を確認して、そのフォーマットに落とし込もう

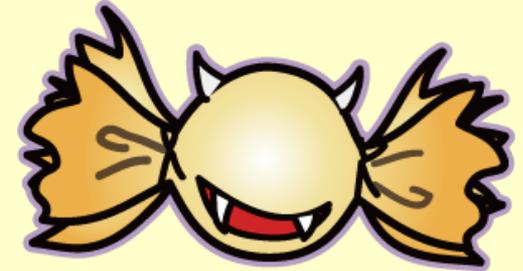




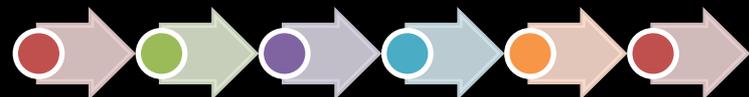
# 設計図（構成案）を作る



# • 企画書（構成案、目次）



- 編集部が作るもの
  - 対象とする読者、書籍の大きさ、ページ数
  - 発売時期、価格
  - **内容(構成案) ←現実との乖離があれば補正する**
- この資料を基に編集部や営業部で企画会議して、  
発刊するかどうかを決めていく





# • 企画書の例

## 【趣旨】 ←

□近年、「時短」というキーワードとともに、業務を自動化する RPA の導入が注目を集めている。←

□RPA はユーザーに成り代わってキーボードやマウス操作をするもので、操作を自動化することで時短が計れる。しかしそのためには、RPA プログラミング自体が簡単で手早く実現できなければならない。←

□SikuliXは、まさにそうした目的で利用できる RPA 構築ツールである。画像認識のアプローチで操作対象を特定するため、操作できるアプリケーションに制限がなく、どのようなアプリケーションでも、同じ方法で操作できる。また IDE が付属しており、プログラミング環境を別途用意する必要もない。←

□本書では、SikuliXを使った RPA プログラミングを、さまざまな実例サンプルとともに紹介する。←

←

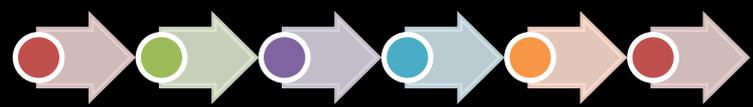
## 【読者対象】 ←

- RPA プログラミングを始めようとしている人←
- プログラミングは多少知っている人←



この本の目的が書かれている

読者対象を定義している

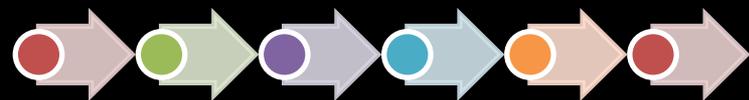




# • 企画書の例

【作るものの例】 ←

- CSV などからの連蔵データ入力・登録作業 ←
- 開発時などでエビデンスの画面キャプチャを必要とする一連操作の記録 ←
- 管理ツール画面における異常監視 ←
- OCR を使った入力補助 ←
- など ←





# • 企画書の例（構成案）

## 第1章 RPAを実現する SikuliX

- 1-1 RPAとは
- 1-2 RPAに必要なもの
- 1-3 SikuliXとは
- 1-4 SikuliXのインストールと起動
- 1-5 本書の構成

←

## 第2章 SikuliXの基本

- 2-1 SikuliXの基本的な考え方
- 2-2 クリック操作の自動化
- 2-4 IDEにおける画像の差し替え操作
- 2-5 処理の調整と高速化
- 2-6 アプリの起動とウィンドウへのフォーカス
- 2-7 次の画面が表示されるまで待つ
- 2-8 メッセージウィンドウを使ったデバッグ

←

## 第3章 SikuliXでよく使う操作

- 3-1 キーボード操作の自動化
- 3-2 CSVファイルからの自動入力
- 3-3 ドラッグ&ドロップ操作の自動化
- 3-4 目的物が表示されるまでスクロールする
- 3-5 画面キャプチャを保存する

## 第4章 画像マッチングを理解する

- 4-1 画像マッチングの仕組み
- 4-2 合致率とクリック位置の調整
- 4-3 対象が見つからないときの例外処理
- 4-4 画面上のチェックボックスにすべてチェックする例
- 4-5 画像マッチング以外の領域の特定
  - 位置や範囲で座標を指定する
  - ユーザーに領域を選択させる
  - アプリケーションのウィンドウを特定する
- 4-6 Excelなどの格子状のコントロールを操作する
- 4-7 キャッシュを使ったマッチングの高速化
- 4-8 イベントを使った画像の監視

←

## 第5章 他アプリとの連携

- 5-1 データベースとの接続
- 5-2 Seleniumを使ったブラウザの自動操作
- 5-3 Androidアプリの自動操作

←

## 第6章 SikuliXを使った本格RPAアプリ

- 6-1 自動入力支援アプリを作る
- 6-2 StingでUIを作る
- 6-3 OCRを使った文字列化
- 6-4 クリップボードを操作する

# • 構成案は作るべき

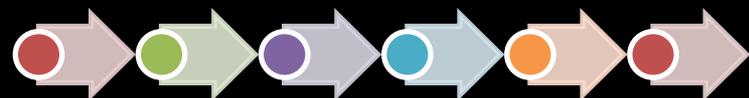
- 全体の流れがわかる→「流れ」を作る

  - 説明の過不足、前後関係がおかしくないか(前提とする説明を先にきちんとしているか)がわかる

- 総量がわかるので、尻つぼみになりにくい

  - 例えば200ページの書籍を5章構成で作るなら、1章は、所詮40ページくらい。1章が4節なら、1節8ページ。つまり、**分割することで、「できそう」な範囲になる**

- 進捗状況を掴みやすい





# • 構成案を作るときのポイント

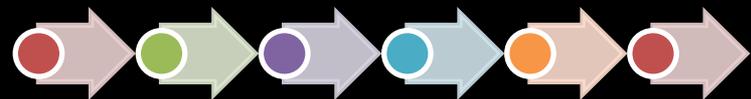
## • 読者はその分野について何も知らない

→いきなり本質から語っても理解できない。まずは、それが何なのか、どういうメリットがあるのか、デメリットがあるのか、などを語ってから、操作なり仕組みなりに入る

→使うとよいメリット、習得するとよいメリット、何ができるのかを伝えないと、習得意欲がわからない

## • ゴールを明示する

→いきなりやってみましょう、じゃくて、最初に、「何を作るのか(目指すのか)」を示す。**なんのために操作しているのか**わからないまま読み進めるのはつらい





# • 先ほどの構成案では……

第1章 □ RPAを実現する Sikulix ←

1-1 □ RPAとは ←

1-2 □ RPAに必要なもの ←

1-3 □ Sikulixとは ←

1-4 □ Sikulixのインストールと起動 ←

1-5 □ 本書の構成 ←

「Sikulixとは」からではなくて「RPAとは」から始めることで、RPA分野におけるSikulixの位置づけを明確にする。

【読者対象】 ←

- RPAプログラミングを始めようとしている人 ←
- プログラミングは多少知っている人 ←

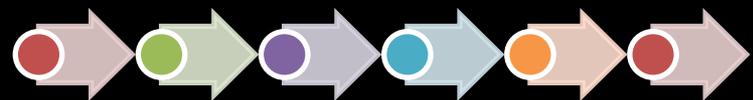
RPAをはじめようという人が対象ということは、読者はRPAを知らない。だから、そこから書く！



# • 構成で大事なこと

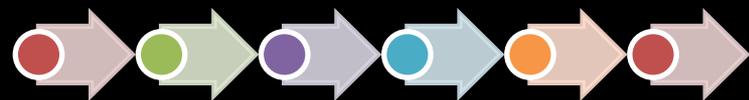


- 対象読者は誰か
- 本書を読んだあと、読者はどんな得をするか  
→「〇〇がわかる」「〇〇の操作ができるようになる」
- 流れを作る  
→説明していないことを説明なしに語らない  
(どうしてもそうなってしまうなら、〇〇で説明と補足すること)





原稿を書くにあたって



Presented by  
Mofukabura様



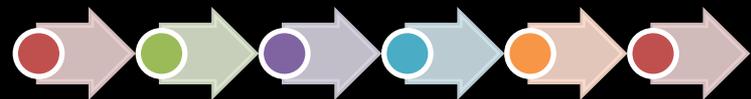


# • どんなソフトで書くの？

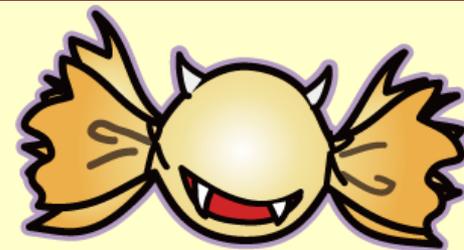
- テキスト
- WORD
- Markdown

など、基本的に何でも可。使いやすいソフトで。  
編集さんと事前調整

テキストに変換され、DTPで組版されるよ



# • 原稿の書き方



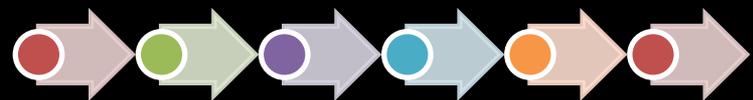
「見出し」「本文」「プログラムリスト」などをどのように記述するかを編集さんと調整する

→テキストであれば「■は大見出し」「●は小見出し」などの規則

→Markdownであれば「#が大見出し」「##は小見出し」など

→Wordであれば、見出しのスタイルを適用するなど

※基本、テキストにするので、WORDで書く場合、「テキストボックス」とかは使わないのが望ましいです(テキストとして保存したとき失われるため)。  
執筆しやすい、見やすくフォントなどを調整するのはよいですが、誌面に、そのまま反映されません(新たにDTPさんがテキストから組版するため)



# 凝ったレイアウトにしたいとき

## ・テキストの装飾

→赤字とか太字とか……

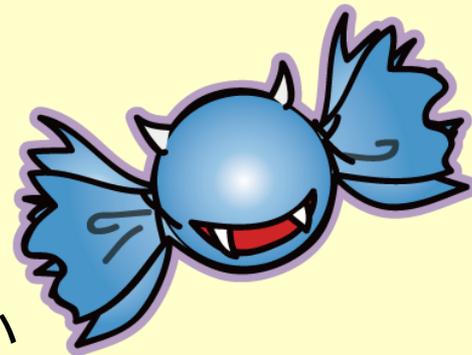
→指示方法を編集さんと調整

→できないこともある

→プログラムリストで予約語を太くとか

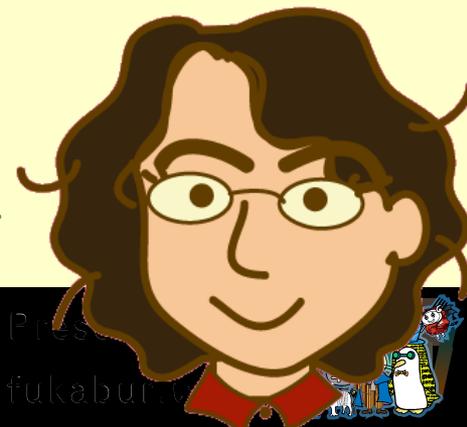
→編集さんと相談

→できない/やり方によって反映できないこともある



る

事前に調整しないと、  
せっかくの作業が反映され  
ないこともあります！





# • 画面キャプチャについて

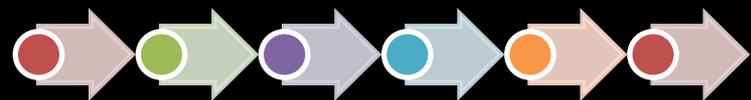
• オリジナル(説明用の引出線とか文字とかを重ねない)をPNG形式などで用意する

(トリミングをしないものも用意するのが望ましい。レイアウトの都合で、「余白が空いてしまって、トリミング前の画像が欲しいということがある」)

• 引出線や文字などは、別の方法で指示する

→たとえばPowerPointに貼り付けて、そこに引出線や解説を入れる(そしてオリジナルの画像とともに提出する)

→印刷したものに、手書きで引出線でもOK





## • ドロー系の図について

- **ラフでよい**(デザイナーさんが清書する)

  - 手書き、PowerPointなど

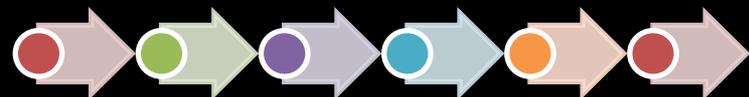
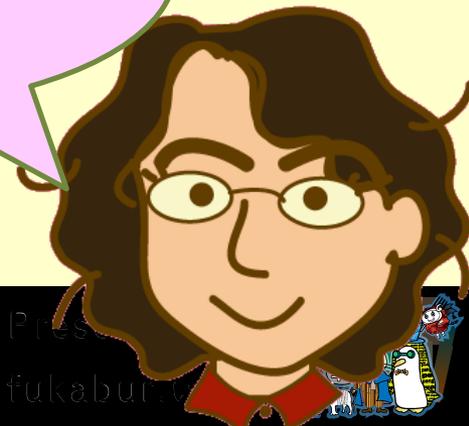
  - ラフの場合、テキストだけ、別にファイルとして用意して提出すると「スペルミス」を防げます

- 自分で作りたいよという人は、Illustratorで読める形式で

  - draw.ioとか使えます

**デザイナーさんの清書なしで  
そのまま掲載したいときは  
要確認！**

編集部によって  
工程が違うので、  
確認してね！





# • 原稿を書くときの注意・ポイント

- 文章が多少おかしいのは編集部で直せます

  - おかしいまま出版されるのは、編集部の怠惰か**著者に気を遣ったか**です。気遣いで直されないケースもあるので、もし、直してほしいなら「直してください」と教えてください

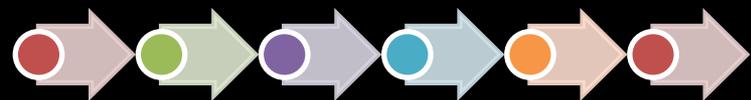
  - **原稿は著者のものです。編集は著者の意見を尊重します。**

- 本文の量が多いときは、適当に「見出し」を入れると読みやすくになります

  - **見出しを入れると視覚的にわかりやすくなります**

- だらだら書かずに、箇条書きにするとわかりやすいです

  - 手順などは、箇条書きのフォーマットにするとよいです

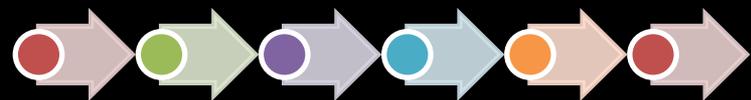




- だらだら書くと……

EC2インスタンスを作るには、AWSマネジメントコントロールを開き、[EC2]メニューを開きます。そして[インスタンス]の部分から、[新規]をクリックします。新規の画面が表示されたら、まず、「インスタンス名」を入力します。ここでは「〇〇」とします。

次に、AMIを選択します。AMIを選択するには……





## • 箇条書きにする

EC2インスタンスを作るには、次のようにします。

### 【手順】EC2インスタンスを作る

#### [1][EC2]メニューを開く

AWSマネジメントコンソールを開き、[EC2]メニューを開きます。

#### [2]インスタンスを新規作成する

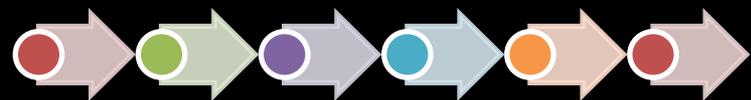
[インスタンス]の[新規作成]をクリックします。

#### [3]名前を入力する

「インスタンス名」を入力します。ここでは「〇〇」とします。

#### [4]AMIを選択する

次に、AMIを選択します。AMIを選択するには……………





# ・再現できる・納得できる原稿を

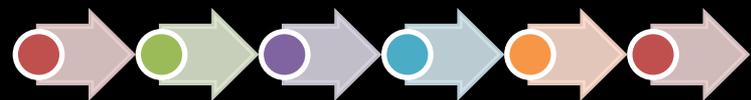
- ・原稿の通りに進めると、原稿に書いていない選択肢を選ばないと、その通りにならないケースがある

  - ライブラリのインポートの手順又ケとか

  - 設定の又ケとか

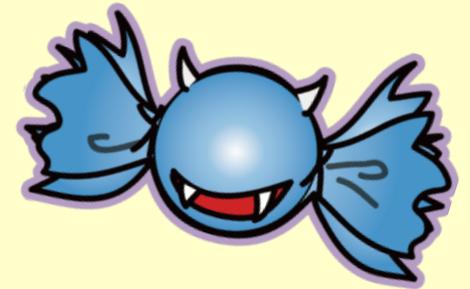
- ・そこで、その選択肢を選ぶ理由を教えてください

  - [〇〇を選択します]と、いくつかの選択肢のなかから選ぶ場合、**理由がないとモヤモヤします**



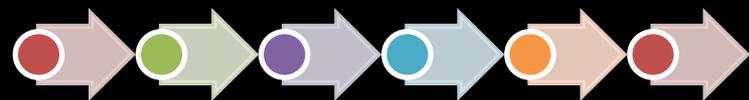
# • 任意名か指定名かの区別をしてほしい

- 著者が決めた名称なの？
- それでないといけない名称なの？
- それが慣例なの？



「決まり」か「決めた」のか「慣例」か。

「決まり」なら、どこで決められているのか(原典)も示してあげると親切です！





# • 編集部は検証するの！？

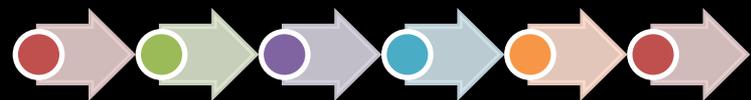
編集部による。原稿の難易度にもよる

→初心者向けのものであれば、検証することが多いです

→上級者向けのもので、編集部がわかる範囲で検証することが多いです

→データを用意しないといけないとか、機材が必要とか、検証環境を用意しないといけない場合は、しないこともあります

→手順がダイジェスト雰囲気風原稿は検証しません(できません)



- 原稿の「書き方」については過去のセミナーで

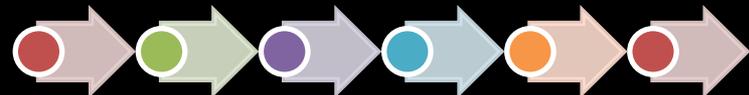
**技術ドキュメントを  
書くテクニック**  
～ちょっとの心がけで  
読みやすく。  
社内ドキュメントから  
ブログ、雑誌記事、  
そして技術書まで～

モウフカブール  
大澤文孝

Mofukabur  
大澤文孝

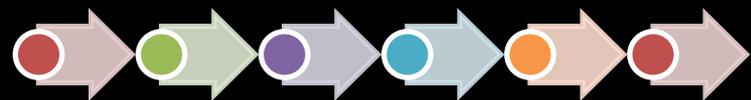
書き方テクニック  
については、こち  
らの動画を見てね

<https://event.ospn.jp/osc2021-online-hiroshima/session/431543>

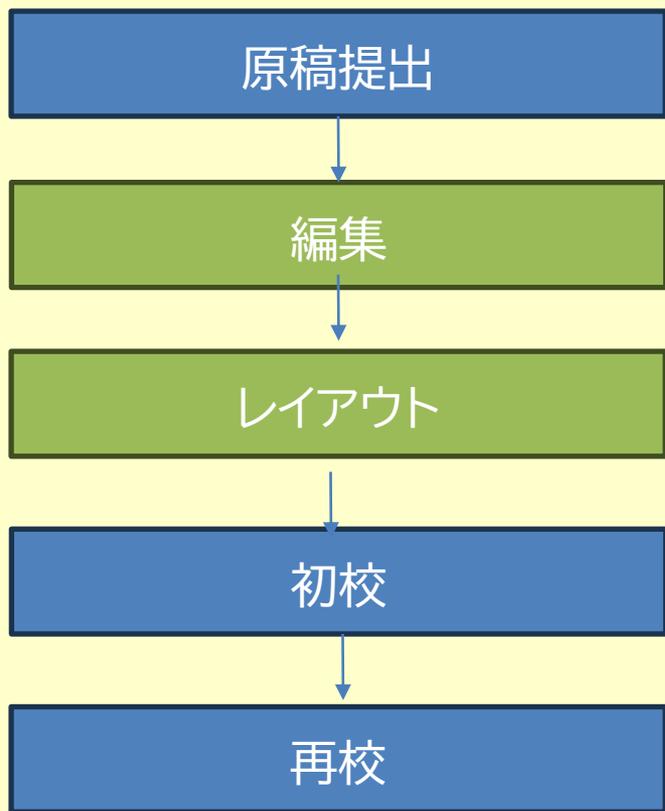




# 原稿提出から出版までの流れ



# • 出版までの流れ



レイアウト済みのものは、校正紙としてPDFで出てくるよ

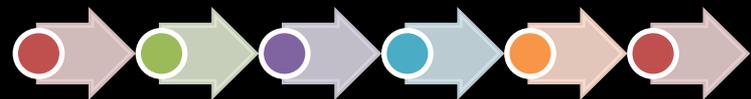


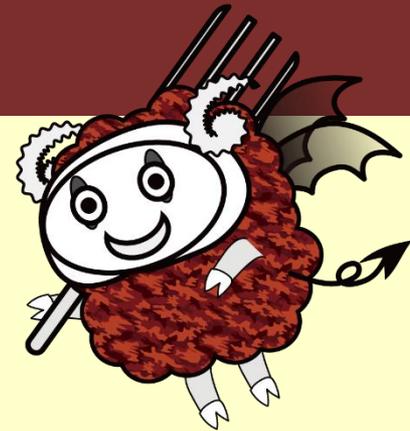
**修正は初校までが原則。**

「はじめに」「著者略歴」とかは、このあたりで書く

**初校の修正が反映されたことを確認するのが目的。**

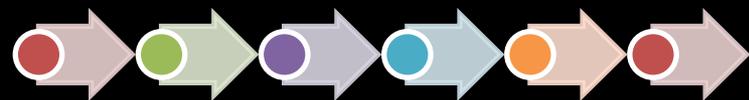
→このあと3校、4校と進むが、著者は見ない





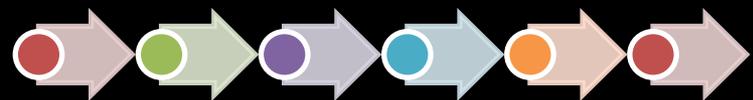
# • 索引はどうするの？

- 編集部が重要語句をピックアップしてくれるケースが多い
  - 編集さんはその分野のプロではないので、不適切な用語が混じるケースもあるので、確認することをお勧めします
  - 用語統一の揺れに気づくこともあるので、そういった意味でも確認するのがお勧め
- こだわるなら、自分でPDFにマーカーを付けて、「これをお願い」というのも可能
  - ページ番号は編集部にお任せでOK





出版社から本を出したい！

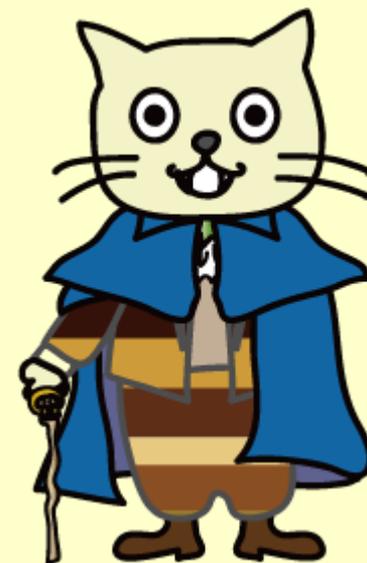


Presented by  
Mofukabun

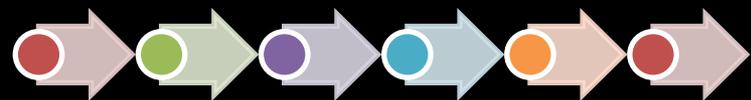


# • 企画を立ててアポをとる

- 企画書を作る
- 編集部に営業する
  - 編集部のホームページ
  - 書籍の「奥付」
  - 技術書の同人イベント、各種イベントの物販コーナー



→いきなり企画書を送るのではなくて、こういう書籍を出したいと思うのだが、企画書を送ってもよいか？ と聞くところからスタート

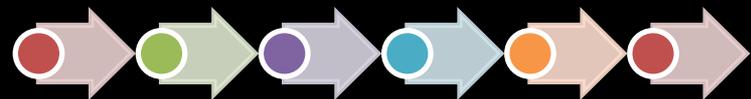


# • 分野で出版社を選ぶ

## • テーマが合う出版社を探すこと

ソフトウェア系、開発系、ゲーム、IoTや電子工作  
インフラ、ネットワーク、サーバー  
初心者向け、上級者向けなど……

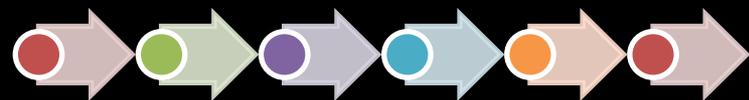
合わない出版社に  
持ち込んでも良い  
結果にならないよ



# • 出版はルーズな人もいます

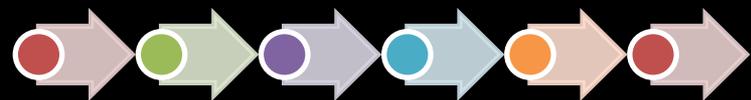
- 連絡こない
- 企画の進捗がわからない
- 立ち消えになったかもわからない

→遠慮なく、催促してください。





まとめ



Presented by  
Mofukabun@<





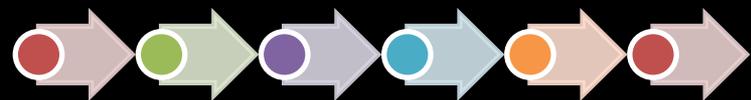
# • エンジニアの皆様の知見を伝えたい

• 手間の割に費用が見合わないかも知れませんが、編集部は負担を減らすよう、最大の努力をしています

• 書籍1冊を書き上げるなんて、自分にはできないと思っても、構成案を作って細分化すれば、そこまでできないものでもありません

→ ふだん設計書などを書いているエンジニアにとって、技術書を書くのは、システムを作るのとあまり変わりません

是非、皆さん、**気軽に**技術書の世界へ！



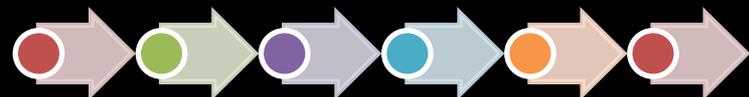


- 相談あれば、モウフカブールへ

エンジニアと出版社の橋  
渡しをします！  
報酬は菓子折で！

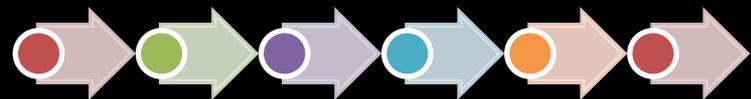


ぼくは、本高砂屋のエコルセが好きだよ！  
あと、パイ系のお菓子も好き！





# モウフカブールについて



# モウフカブール

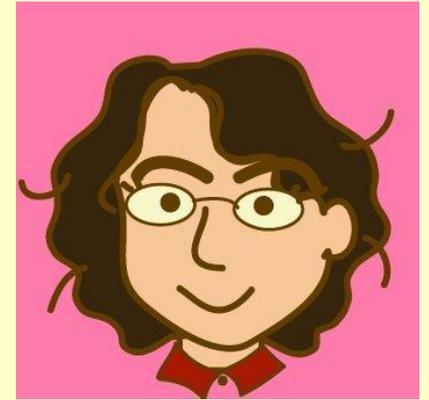


小笠原種高



モウフカブール

<http://mofukabur.com/>



大澤文孝



# 同人活動

# Mofukabur

明後日から使える

## AI・機械学習入門

この1冊で機械学習の概要を掴む!

小笠原種高 / 浅居尚 著

256 Beginners



とにかく  
機械学習を  
わかりたい!  
ChatGPT・画像生成AI  
仕組みを解説

MOFUKABUR

新刊



技術書典14 参加中

## モウフカブール

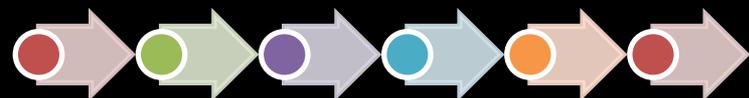
技術ライター小笠原種高・大澤文孝を中心とする同人集団。  
技術同人から写真集、電子工作、作曲まで幅広く活動しています。

<http://www.mofukabur.com/>

### おすすめの書籍



新刊



Presented by  
Mofukabur.いんく



# ・ 技術書の同人誌即売会

当選すれば  
出ます！



2023年11月12日(日)  
池袋サンシャインシティ

現在サークル募集中。  
当落抽選

出ます！

技書博  
GISHOHAKU

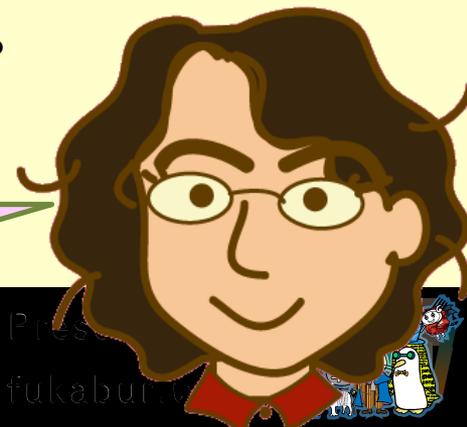
第九回 技術書同人誌博覧会  
2023.11.25 Sat. 11:00~16:00  
@大田区産業プラザPiO 大展示ホール

[サークル申込はこちら](#)

2023年11月25日(土)  
大田区産業プラザPiO

現在サークル募集中。  
先着順

どちらもサークル募集中！  
参加申し込みしよう！





# • どちらか迷ったら？

• 先着順なので、申込時の入力不備がなければ、参加確定

• 規模が小さいので、初参加でもあたふたしにくい

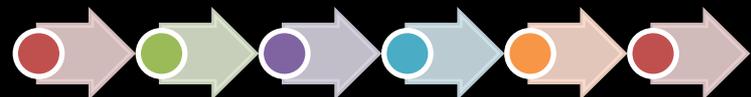
**技書博**  
GISHOHAKU

第九回 技術書同人誌博覧会  
2023.11.25 Sat. 11:00~16:00  
@大田区産業プラザPiO 大展示ホール

[サークル申込はこちら](#)

2023年11月25日(土)  
大田区産業プラザPiO

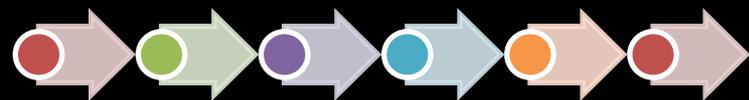
現在サークル募集中。  
先着順





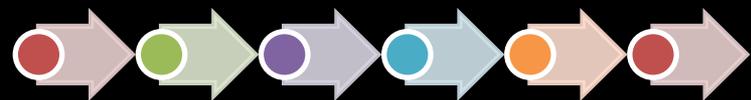
# • 技術同人作るのがって難しいでしょ？

- 印刷所に「PDF」として渡せば、印刷できます。ページ数にもよりますが、本文モノクロなら、お小遣いの範囲で作れます
- Re:ViewやVivliostyleなどMarkdownなどから組版できる(PDF出力できる)ソフトもあるが、WORDなどからPDFを作るのでもOK
- オンラインの印刷所なら、クレジットカードで決済してPDFをアップロードして終わり！
  
- あとは内容次第！ 印刷についてわからないことあれば、Twitterで絡んでください！





聞きたいこと教えてください



Presented by  
Mofukabura様



# • 駆け出しエンジニア応援します！

- こんなこと知りたい
- こういうことがわからない

→是非、教えてください！



モウフカブール  
<http://mofukabur.com/>

Follow me



小笠原種高



大澤文孝

